

(平成30年3月時点版)

松山市立浮穴小学校

4年生社会科

「自然災害からくらしを守る」
指導計画（案）

小単元「自然災害からくらしを守る」

1. 本小単元の概要

【学習指導要領（平成 29 年 3 月公示）】

社会 第 4 学年

○内容

（3）自然災害から人々を守る活動について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

（ア） 地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解すること。

（イ） 聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

（ア） 過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現すること。

○内容の取扱い

（2） 内容の（3）については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アの（ア）については、地震災害、津波災害、風水害、火山災害、雪害などの中から、過去に県内で発生したものを選択して取り上げること。

イ アの（ア）及びイの（ア）の「関係機関」については、県庁や市役所の働きなどを中心に取り上げ、防災情報の発信、避難体制の確保などの働き、自衛隊など国の機関との関わりを取り上げること。

ウ イの（ア）については、地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるように配慮すること。



我が国には豊かな自然環境があり、河川の自然環境との関わりに目を向け、河川が私たちにもたらしてくれる恩恵がたくさんあることを知る。

一方で、我が国の国土ではさまざまな自然災害が起こりやすく、自然災害の発生は、私たちの生命や、生活、産業に大きな影響を与える可能性があることを知る。

自然災害の発生は、私たちの生命や、生活、産業に大きな影響を与える可能性があることを知り、自然災害からくらしを守るため、国・県・市などが協力し、普段から災害へ備え（対策や事業を進め）や災害時に対応を行っていることなどを、松山市を流れる重信川や過去に地域で発生した風水害を題材に調べ、私たちの生活や産業との関わりについて考える。

地域で想定される災害や災害から人々を守る活動を通じ、自分たちにできることなどを考え、選択・判断ができるようにする。

【捉えさせる内容とねらい】

①自然環境の恩恵がたくさんある一方で、地域ではさまざまな自然災害が起こりやすいこと

■身近な河川環境と、重信川での風水害の概要（全体像）をつかむ。

- ・身近な河川環境（河川利用、景観、動植物の生態など）
- ・洪水氾濫、土砂災害、高潮災害、波浪災害など

②自然災害からくらしを守るため、国・県・市などが協力し、災害への備え（対策や事業）や災害時の対応を行っていること

■風水害のうち水害に着目し、公的機関などが行う平常時の備えや、河川環境を維持するための様々な取り組み、災害時の対応を捉える。

- ・平常時の備え：治水対策、河川パトロール、訓練など
- ・河川環境の維持：霞堤の環境再生、堤防の除草等
- ・災害時：洪水予報や避難指示等の発令、避難誘導、救助活動、復旧活動など

③自分たちにできることなどを考え、選択・判断ができるようにすること

■防災の観点からよりよい国民生活の実現を目指す態度を育む。

- ・風水害（水害）から地域を守る平常時・災害発生時の国・県・市などの取り組みの振り返り
- ・私たちが風水害（水害）に備えてできること

2.本小単元の構成

【第1時】
日本の自然災害のうち風水害の概要（全体像）と身近な河川環境の関わりをつかむ。

身近な川は豊かな自然により恩恵を与えてくれることもある。一方で、日本ではさまざまな自然災害が発生している。

【第2時】
公的機関などが取り組む平常時の備えや災害時の対応を捉える。

風水害からの被害を減らすためにさまざまな対策があり、さまざまな人たちが連携・協力している。

【第3時】
防災の観点からよりよい国民生活の実現を目指す態度を育む。

平常時や災害時の対策を振り返り、自分たち一人ひとりの備えやできることを考え実行しよう。

3.評価の目標

- 関心・意欲・態度** ……自然災害や河川環境について関心をもち、意欲的に調べることを通して、自然災害から地域を守ることの重要性や国民一人一人が防災意識を高め、協力することの大切さを考えようとしている。
- 思考・判断・表現** ……自然の恩恵を受けている一方で、地域ではさまざまな自然災害が起こりやすいこと、その被害を減らすために国・県・市などが協力し、平常時の災害への備え（対策や事業）や災害時の対応がおこなわれていることや、地域の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考え、調べたことや考えたことを適切に表現している。
- 観察・技能** ……地域で起こるさまざまな自然災害や、その被害を減らすための国・県・市などの災害への備え（対策や事業）について、地図や統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用して具体的に調べ、調べた過程や結果をノートや作品にまとめている。
- 知識・理解** ……地域で起こるさまざまな自然災害からくらしを守るために、国・県・市などが災害への備え（対策や事業）や災害時の対応を行っていることを理解している。

4.指導計画（3時間）

	学習活動・内容	指導のポイント
1	<p>〔自然災害の起こりやすい国土と河川環境がもたらす恩恵〕</p> <p>身近な重信川の河川環境（河川利用・景観・動植物の生態）について、人が集まる場所の特徴や行動のようすから、たくさんの恩恵を受けていることを知る。</p> <p>一方、重信川で風水害が発生した場合を題材に、自然災害の発生についてつかみ、自分たちの生活や産業への影響を考える。</p>	<p>重信川の上流域・中流域・下流域ごとに人が集まる場所の特徴や行動のようすと、各流域で起こりうる自然災害を、写真や図を活用し学習する。</p> <p>風水害が発生した場合に生活や産業へどのような影響があるのか資料を活用し学習する。</p>
2	<p>〔自然災害からくらしを守るために〕</p> <p>郷土の重信川を題材に風水害による被害を減らすために、普段から国や県、市などがさまざまな対策や事業を進めていることをつかむ。</p> <p>また、風水害が発生した時の関係機関の働きや連携について捉えることができる。</p>	<p>自然災害の一つ、風水害による被害を減らすため、重信川で行われている対策や事業を学習する。また、このなかには河川環境の維持とも重なることがあることを学習する。</p> <p>公的機関の治水対策だけでは、災害（風水害）から地域を守れないことを気づかせるようにする。</p> <p>風水害発生時に働く組織や、日ごろから風水害による被害を減らすために働いている組織を知り、多くの人の働きによって安全なくらしが成りたっていることを学習する。</p>
3	<p>〔自然災害に備えてできることを考えよう〕</p> <p>これまでの学習を振り返り、自分たちの身の回りにも風水害などの自然災害が起こることを認識し、一人一人が日頃から防災意識を高めることが大切であることに気づく。</p>	<p>自分たちの住む街にある避難所や普段からの備えといった最低限必要なことを調べながら、風水害などの自然災害が発生した時に備えて自分自身にできることを考える。</p>

「自然災害のおこりやすい国土と河川環境がもたらす恩恵」(1/3)

1.本時の位置づけ	4年生社会「自然災害からくらしを守る」(3全時間)の導入の時間として位置づける。
2.指導のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・重信川の上流域・中流域・下流域それぞれの特徴や河川利用について考える。 ・自然(重信川)は、私たちのくらしを豊かにしてくれるときもあるが、災害時には私たちのくらしに被害をもたらすこともある。 ・重信川では、風水害(洪水氾濫・土砂災害など)が起こる可能性がある。 ・大きな洪水(風水害)が発生した際には松山市も浸水してしまう危険性があり、私たちの生活や産業などに多大な影響を及ぼす可能性がある。
3.学習方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT(大型TV)の活用 ・グループ単位での学習
4.本時のねらい	<p>重信川との関わり方について考え、重信川がもたらしてくれる恩恵について知る。</p> <p>重信川で起こりうる風水害について知る。</p> <p>風水害の発生が自分たちの生活に与える影響を知る。</p>
5.教科書(東京書籍「新編社会3・4下」)における振替ページ	<div style="border: 1px solid black; background-color: #cccccc; padding: 20px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>「自然災害のおこりやすい国土 と河川環境がもたらす恩恵」 (1/3) 教科書該当ページ</p> </div>

6.学習の過程

学習活動	主な発問と予想される児童の意識	指導上の留意事項	資料
1 学習課題を把握する (10分)	<p>T: なんの写真でしょうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重信川 ・干潟 ・湧水 ・公園 ・滝 ・マラソン大会 ・いもたき会 <p>T: 重信川はみなさんにとってどんな川でしょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊かで、美しく楽しい場所 <p>T: この写真を見てみましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川は楽しいことばかりではないんだな ・怖いな 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT (大型 TV) を活用する。 	<p>【写真資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中流域写真 (黒板貼り付け) ○重信川を背景にした身近な写真 (TV 画像) <p>【写真資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○洪水写真 (黒板貼り付け) <p>(解説書 P.1~P.4 「豊かな自然と自然災害」 「さまざまな自然災害」 「さまざまな自然災害」)</p>
大雨が降ると川ではどんな災害が起きるのだろう			
2 グループで話し合う 3 発表する (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水 ・崖崩れ ・高潮 ・浸水 ・土石流 ・交通麻痺 ・停電 ・農作物被害 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次的な被害についても考えさせる 	<p>(解説書 P.1~P.4 「さまざまな自然災害」 「豊かな自然と自然災害」)</p> <p>(解説書 P.5 「風水害とは・・・」)</p>
4 学習のまとめをする (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・重信川は普段は、美しく豊かな自然を与えてくれるが、大きな災害をもたらすことがある。 ・水害は大きな被害をもたらし、あらゆる生活に影響をあたえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・TV 画像の写真資料を使いながら確かめる ・流域によって災害の種類が異なることにも気付かせる ・重信川でも実際に災害が起きていることを告げる 	<p>【写真資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然災害の写真 (TV 画像) <p>(解説書 P.13 「重信川で起きた過去の風水害」)</p>

学習活動	主な発問と予想される児童の意識	指導上の留意事項	資料
<p>5 本時の感想を書く(10分)</p> <p>6 次時の予告</p>	<p>T:今日の学習を終えて、わかったことや感想を書きましょう。</p> <p>T:次時は、災害を防ぐ方法について勉強します。</p>		

「自然災害から暮らしを守るために」(2/3)

1.本時の位置づけ	4年生社会「自然災害から暮らしを守る」(全3時間)の展開の時間として位置づける。
2.指導のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間目で、自然(重信川)の豊かさと恐ろしさを知り、風水害(水害)が起こると自分達の生活に大きな影響があることがわかった。 ・風水害による被害を減らすため、重信川流域では堤防、ダムなど数多くの対策(河川整備)や万が一に備えての、日々の管理に関する仕事(河川管理)が実施されている。 ・しかし風水害を完全に防止することはできないため、風水害が発生した際に被害を小さくするために働く人々がいること(水防活動、応急復旧など)を紹介する。 ・地域の住民で組織された消防団(水防団)が、人命や財産への被害を防止あるいは軽減する活動を行うことを知る。 ・風水害の被害を小さくするために働く人を知ることで、自らもできることを考えるきっかけを与える。 ・霞堤は洪水の被害を減らすための機能を持っている。霞堤や泉の環境(河川環境)を整えること(自然再生事業)も重信川では行われている。
3.学習方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT(大型TV)の活用 ・グループ単位での学習
4.本時のねらい	<p>風水害のうち洪水や浸水害などの水害の被害を防ぐための対策を知る。対策の実施のためには、多くの協力が必要であることを考える。</p> <p>対策後も万が一に備えて、河川を管理していることを知る。</p> <p>水害が発生した場合の関係する人々の働き(水防活動、応急復旧)を知る。</p> <p>水害の被害を最小限にするための仕事の内容について知る。</p>
5.教科書(東京書籍「新編社会3・4下」)における振替ページ	<div style="border: 1px solid black; width: 300px; height: 250px; margin: 0 auto; background-color: #e0e0e0; padding: 20px;"> <p>「自然災害から暮らしを守るために」 (2/3) 教科書該当ページ</p> </div>

6.学習の過程

学習活動	主な発問と予想される児童の意識	指導上の留意事項	資料
<p>1 学習活動を把握する (5分)</p>	<p>T：映像を見ましょう</p> <p>T：今日の学習課題です</p>	<p>・前時の学習を復習しながら本時の学習課題を把握する。</p>	<p>【映像資料】</p> <p>○守り切れない洪水は必ず発生する</p> <p>(解説書 P.13 「重信川で起きた過去の風水害」)</p>
<p>水害を減らすためにどんなことをしているのだろう</p>			
<p>2 グループで調べる 3 発表する (20分)</p>	<p>〈ものを作って水害に備える〉河川整備 ・ダムを造る ・堤防を築く</p> <p>〈ふだんから水害に備える〉河川管理 ・草刈り ・見回り ・川底さらい ・自然保護 ・水防センター</p> <p>〈水害が発生した時に働く人々〉 ・警察 ・消防 ・消防団 ・自衛隊 ・電力 ・公民館 ・テレビ局 ・病院 ・ボランティア</p>	<p>・簡単に予想させてからグループ活動に入る。</p> <p>・資料集、写真、プリントを参考に調べさせる。</p> <p>・土木工事以外にも目を向けさせる。</p> <p>・働く人々については、プリントを参考に考えさせる。</p> <p>・写真資料(TV 画像)を使いながら説明する。</p> <p>・かすみ堤についても簡単に触れる。</p>	<p>(解説書 P.14～P.17 「国や市で行われている治水対策」)</p> <p>(解説書 P.18 「風水害に備えるための仕事内容」)</p> <p>(解説書 P.19～P.21 「風水害が発生した際に働く人々」)</p>
<p>4 学習のまとめをする (10分)</p>	<p>・ダムや堤防を作るだけでなく、ふだんから水害に備えている。</p> <p>・水害が発生したら、多くの人々が協力して働く。</p> <p>T：今日の学習を終えて、わかったことや感想を書きましょう。</p> <p>T：次時は、私たちができることについて勉強します。</p>		

「自然災害に備えてできることを考えよう」(3/3)

1.本時の位置づけ	4年生社会「自然災害から暮らしを守る」(全3時間)のまとめの時間として位置づける。
2.指導のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・「自然災害から暮らしを守る」のまとめとして、これまでの学習の振り返りや、日ごろから防災に関して関心を持つことの大切さについて考える。 ・2時間目では、風水害のうち水害の被害を小さくするためにさまざまな人びとが協力して安全を守っている人達がいることが分かった。 ・もしもの時に備えて、自分たちでできることは、風水害に関係して働く人々に連絡することや、避難所の場所や連絡先を知ること、安全な避難の方法を知ること、防災に関する情報を知ること、避難の際に必要な持ち物を用意しておくこと等がある。 ・自分たちの住む場所の避難場所等を確認する活動や、自分たちにできることを話し合うことで、自助・共助の意識を高める。 ・地域の住民で組織された消防団(水防団)や自主防災組織が、人命や財産への被害を防止あるいは軽減する活動を行うことを知る。 ・風水害以外の自然災害についても同様のことが言え、自分たちでできることを考えることが重要である。
3.学習方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT(大型TV)の活用 ・グループ単位での学習
4.本時のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・風水害時に自分たちができることを考え、万が一に備えて避難所や必要な準備を調べることができる ・風水害に限らず、自然災害に備えることが大切であることに気づくことができる。
5.教科書(東京書籍「新編社会3・4下」)における振替ページ	<div style="border: 1px solid black; padding: 20px; text-align: center;"> <p>「自然災害に備えてできることを考えよう」 (3/3) 教科書該当ページ</p> </div>

※松山市洪水ハザードマップは、松山市のHPよりダウンロードすることができます。

※重信川の浸水想定区域図は、松山河川国道事務所HPよりダウンロードすることができます。

6.学習の過程

学習活動	主な発問と予想される児童の意識	指導上の留意事項	資料
1 学習課題を把握する (10分)	<p>T: これまでの授業を振り返ってみましょう</p> <p>T: 今日の学習課題です</p>	<p>・写真映像等で振り返る (TV 画像)</p>	<p>【写真資料】</p> <p>○これまでに用いた写真資料</p>
<p>自然災害に備えて自分たちができることはなんだろう</p>			
2 自助・共助活動について考える(10分)	<p>T: 今までの学習を振り返りながら自分たちにできることを考えてみましょう。</p> <p>・避難訓練 ・避難場所の確認</p> <p>・持出袋の準備 ・情報収集</p> <p>・年寄りや子どもの世話 ・呼びかけ</p>	<p>・小学4年生ができることについて取捨選択させる中で実践力を高める。</p>	
3 自己診断をする(5分)	<p>T: 実際にできているかチェックしてみましよう。</p>	<p>【プリント資料】</p> <p>・チェックシートを使う</p>	<p>【プリント資料】</p> <p>○風水害への備えチェックリスト (解説書 P.27)</p>
4 先生の話聞く(10分)	<p>T: 避難場所を知ってますか。ハザードマップを使って確認しましょう</p> <p>T: 避難経路が浸水していた場合どうしますか。</p> <p>・無理に避難しない</p> <p>・二階などに移動する</p> <p>・自然災害に備えて、ふだんから自分にできること(避難経路・非常持出・情報収集)を考え、実行することが大切である。</p>	<p>・子どもだけ又は一人で行動することの危険性を理解させる。</p>	<p>(解説書 P.22～P.27 「風水害に対する心がけ」)</p> <p>【校区のハザードマップ】 (解説書 P.28～P.29 「松山市洪水ハザードマップ」) (解説書 P.30 「重信川浸水想定区域図」)</p>
5 本時の感想を書く (10分)	<p>T: 今日の学習を終えて、わかったことや感想を書きましょう。</p>		

こくごとうつうしょう しこくちほうせいびきょく
国土交通省 四国地方整備局

まつやまかせんこくどうじむしょ
松山河川国道事務所

〒790-8574 愛媛県松山市土居田町 797-2

TEL. 089-972-0034 (代表)

<http://www.skr.mlit.go.jp/matsuyam/>